

ネイティブアスペルギルス属アシラーゼⅠ

Cat. No. NATE-1593

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、アミノアシラーゼ (EC 3.5.1.14) は、次の化学反応を触媒する酵素です：
 $\text{N-アシル-L-アミノ酸} + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{カルボキシレート} + \text{L-アミノ酸}$ 。したがって、この酵素の二つの基質はN-アシル-L-アミノ酸とH₂Oであり、二つの生成物はカルボキシレートとL-アミノ酸です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、ペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するもので、特に線状アミドにおいて働きます。この酵素は尿素回路およびアミノ基の代謝に関与しています。

別名 アミノアシラーゼ 1; アミノアシラーゼ I; 脱水ペプチダーゼ II; ヒストザイム; ヒッピーリカーゼ; ペンザミダーゼ; アシラーゼ I; ヒッピーレウス; アミド酸脱アシル化酵素; L-アミノアシラーゼ; アシラーゼ; アミノアシラーゼ; L-アミノ酸アシラーゼ; α -N-アシルアミノ酸加水分解酵素; ロングアシルアミドアシラーゼ; ショートアシルアミドアシラーゼ; ACY1 (遺伝子名); N-アシル-L-アミノ酸アミド加水分解酵素; EC 3.5.1.14; 9012-37-7

製品情報

由来 アスペルギルス属

CAS登録番号 9012-37-7

保管・発送情報

保存方法 0-10°C